# 家事ができるパパは、かっこいい!

# 家事編

今の子育て世代は共稼ぎが多く、夫婦の家事分担が求められています。家事はクリエイティブな作業。家事ができれば、家族が喜んでくれるのはもちろん、仕事の能率アップにもつながり、嬉しいことがいっぱいです。

松本 和幸さん（運送業）
美希さん（幼稚園教諭）

お互い仕事がありますし、しんどい時もあるので、完璧を目指さない。相手を思いやる気持ちや「ありがとう」の思いを伝える事を忘れないよう心がけています。

## 得意な家事をみつけよう。

とは言ってもいきなり家事全部を上手にできるはずはありません。まずは、洗濯をバシッと干したり、料理に挑戦したり主体的にできる家事をみつけましょう。道具（エプロン・調理器具）などの形から入るのもいいかも!?

## できる男は、家事もできる。

お風呂を沸かしながら、ご飯の用意。さらに布団を敷いたり・・・。限られた時間の中で、同時に複数の作業をする家事を切り盛りすることは、段取り上手、タイムマネジメント力のアップにつながります。

## 「子ども泣きゆうで」と言っていませんか?

「ご飯まだ?」「靴下どこ?」「子ども泣きゆうで」なんて言っていませんか?
ママは、「ご飯は今作っています」「靴下はタンスにあります」「泣いている?今手を放せるのはあなただけです」と思っているかも。育児は、自活能力をつける最良の機会です。

### コラム 家事のコツ4か条

1.「できること」から「無理せず」はじめる。
2.お気に入りの家事グッズをみつける。
（よく落ちる風呂洗剤など）
3.ステップアップを楽しむ。
（ゴミ出しの次はゴミ集めなど）
4.自分流の「こだわり」ポイントをみつける。